

1 型糖尿病研究基金—第 1 回山田和彦賞—募集要項

2025 年の 1 型糖尿病根治を目指して

趣 旨

1 型糖尿病は生活習慣とは無縁で、突然膵臓内の膵β細胞が破壊され、インスリンを作る能力が失われる病気です。現在の治療法は絶対的に不足しているインスリンの「補充」を一生継続する対処療法のみです。患者は毎回の食事に応じたインスリンを、注射(1日4回程度)や小さな機械(インスリンポンプ)によって補充を行います。食事療法や運動療法が中心の2型糖尿病とは治療の考え方が全く異なります。日本における1型糖尿病患者数の正確な数値はつかめていませんが、糖尿病全体の数%以下で14歳以下患者の年間の発症率は人口10万人当たり1~2人と希少性の高い疾患です。このような希少性により1型糖尿病の社会的認知度は低く、また患者はつらい「低血糖」と合併症につながる「高血糖」との狭間で一生過ごしていかなくてはなりません。治療の継続は患者本人の苦痛はもとより、家族にとっての精神的、経済的負担も多大なものとなっています。

このような状況において、私たち日本IDDMネットワークは1型糖尿病の「根治」を願い、2005年に「1型糖尿病研究基金」を設立いたしました。この基金により1型糖尿病根治をはじめとする先進的な研究に取り組んでいる研究者の方々や団体に対し研究費の助成を行い、一日でも早く決め手となる治療法が確立されることを期待してまいりました。

基金設立後、2008年度に初めて2件の研究費助成を実施することができ、これまで合計32件、1億6200万円の研究費助成を行っております。

このたび、私たち日本IDDMネットワークでは、1型糖尿病患者の故山田和彦様のご遺族により託された遺産を財源として、「山田和彦賞」を創設いたしました。山田様は、他の人からの移植や機械に頼らず自分の体は自分の体の中で治ることを期待されていたそうです。そして生前ご家族には、自分の後に続く特に若い患者には1型糖尿病の「根治」が実現することを願い、ご自身の財産の一部をそのような治療方法の実現に貢献できる研究に提供したいとのご意向でした。

つきましては、このような山田様のご遺志に沿う、これまで1型糖尿病の「根治」につながる研究実績と今後も研究を推進していただける方を「第1回山田和彦賞」候補者としてご推薦ください。

2017年4月

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

1型糖尿病研究基金 第1回山田和彦賞 募集要項

1. 対象研究分野

「自らの体の中で膵島を自己再生するような根治療法」につながる研究分野です。

幹細胞などによる膵臓・膵島の再生と移植(自家・他家含む)、異種動物からの膵島移植、移植臓器が再び免疫作用で攻撃を受けないための自己免疫の制御方法など、将来的に自らの膵島の自己再生による1型糖尿病の根治療法につながる研究分野です。

2. 応募対象者

対象研究分野において日本国籍を有し、優れた功績をあげた研究者といたします。

3. 山田和彦賞の内容

受賞者は1名とし、日本IDDMネットワーク主催イベントの中で賞状と1000万円を研究資金として贈呈いたします。1000万円は山田和彦様のご遺志にそって研究に活用してください。

4. 応募について

(1) 応募方式

推薦方式です。自薦、他薦は問いません。

(2) 応募期間

2017年4月22日(土曜)～2017年6月30日(金曜) 当日消印有効

(3) 応募用紙の入手方法

当法人ホームページ「1型糖尿病研究基金—第1回山田和彦賞—」より、推薦書様式をダウンロードしてご使用ください。

<http://japan-iddm.net/>

(4) 応募用紙の送付

所定の推薦書に必要事項を記入のうえ、2017年6月30日(金曜)(当日消印有効)までに、下記の日本IDDMネットワーク事務局宛に、郵便または宅配便にて、お送りください。

※事務局へのご持参、ファックス、Eメール、メール便(投函記録のないもの)での応募は受け付けませんのでご了承ください。

※提出書類等は返却いたしませんのでご了承ください。

5. 受賞条件

(1) 表彰式典へのご出席及び受賞者講演を実施していただきます。

(2) 受賞者及びその業績・受賞者講演会の内容等を当法人のウェブサイト、会報等に掲載いたします。

- (3) 毎年研究成果等を報告いただき、当法人のウェブサイト、会報等で公表させていただきます。
- (4) 患者・家族による研究室訪問等、研究内容を患者・家族に直接伝えてもらう場を設定する際にご協力いただきます。
- (5) 研究成果のメディアを通じた公表、学会発表、学術雑誌への投稿等は積極的に行っていただくとともに、その場合は当賞を活用したことを、論文などに明記してください。
- (6) 若手研究者等が安心して1型糖尿病根絶に向けた基礎研究等に取り組める環境を創造するために成果に応じて資金のリターンをお願いすることがあります。例えば、受賞後の研究成果に関する知的財産権の取扱い等について別途協議させていただきます。

6. 受賞者の選出について

- (1) 有識者や学識経験者の助言を得て、当法人の患者及び家族の関係者で決定いたします。

※審査の経過・内容に関するお問い合わせには、応じられませんのでご了承ください。

- (2) 審査結果の公表

2017年7月に当法人のウェブサイトで公表し、受賞者と推薦者に別途通知します。選出されなかった応募者につきましては、推薦者へのみ通知いたします。

7. 応募書類の送付先・問い合わせ先

認定特定非営利活動法人日本IDDMネットワーク

〒840-0823 佐賀県佐賀市柳町 4-13

TEL 0952-20-2062 FAX 020-4664-1804 E-mail info@japan-iddm.net

※ 個人情報の取り扱いについて

ご提出いただいた書類およびご記入いただいた個人情報は、本基金助成の選考、運営ならびに情報提供の目的で当法人および選考に携わる有識者や学識経験者が利用し、適切に管理いたします。

**** 日本IDDMネットワークとは ****

日本IDDMネットワークは毎日のインスリン補充を必要とする患者・家族の支援団体です。1995年の阪神・淡路大震災での患者・家族の連携・協力の経験などが契機となり、全国の地域患者・家族会の連携とこの疾患を取り巻く社会的課題の解決のために設立されました。

会員として地域患者・家族会および個人を含めて、約2600人が所属しています。主な活動として、患者・家族への正しい情報提供(1型糖尿病[IDDM]お役立ちマニュアルの作成、“希望のバッグ”の送付、セミナーの開催など)、患者・家族の療養環境や医療・福祉的な支援制度の改善のための政策提言、大規模災害時の患者・家族の支援、療養相談、社会啓発などに取り組んでいます。

そして最終ゴールである1型糖尿病の根絶を目指し、その研究支援に取り組んでいます。